

刈払機作業のリスクアセスメント

片山安心コンサルタント 教習所に於いて



一般社団法人

半歩ずつ前進しています

日本労働安全衛生コンサルタント会

農作業安全アドバイザー

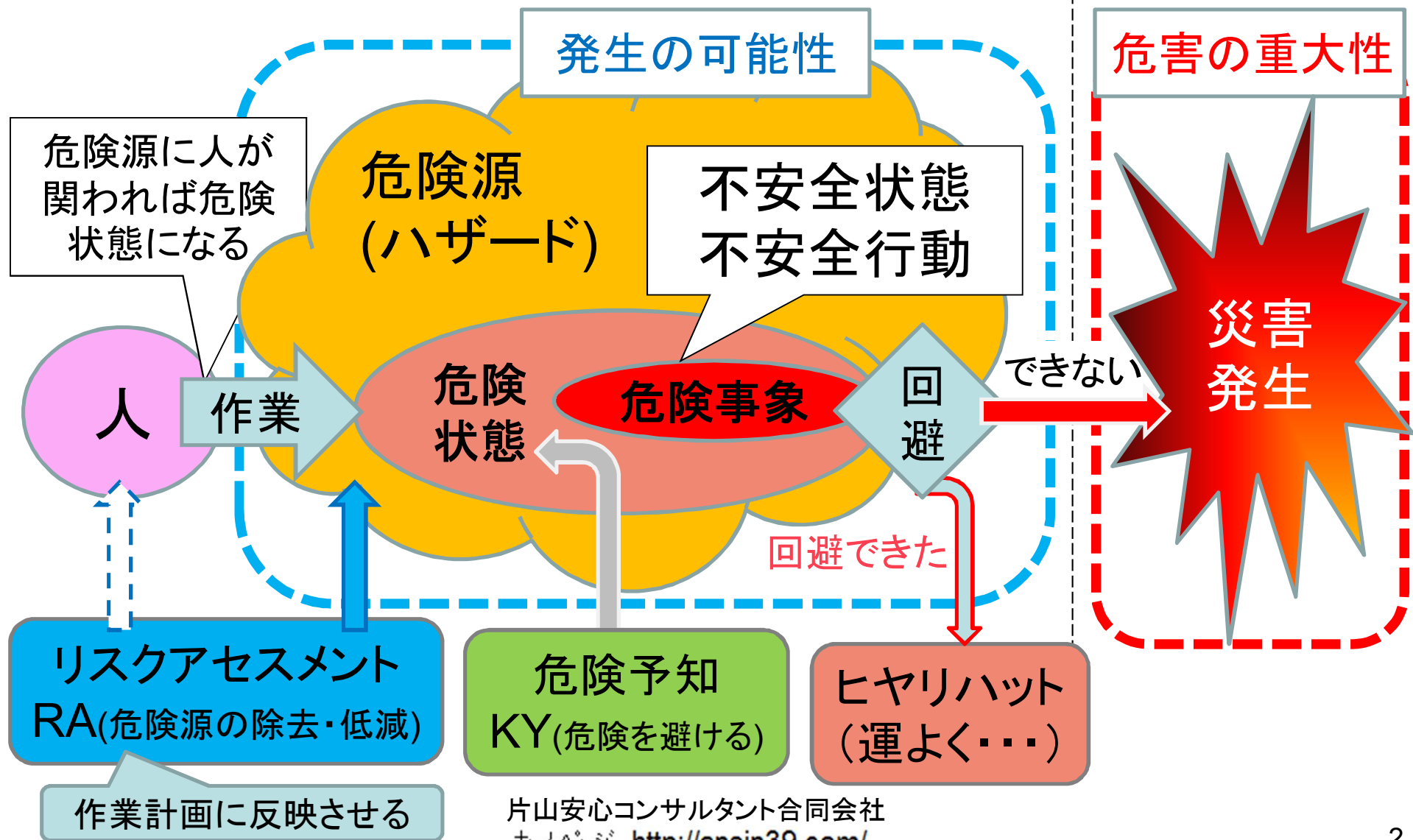
労働安全コンサルタント 片山昌作



片山安心コンサルタント合同会社
ホームページ <http://ansin39.com/>

1. 災害発生の流れ

人が制御できるのは「危険事象」に至る前まで



災害防止の流れ

「危険事象」に至る要素(不安全状態・不安全行動)を無くす、減らすことが肝心です。

リスクアセスメント
RA(危険源の除去・低減)

作業の計画段階で、現場の配置図・進行・人員を加味し、**進行を妨げる要素を排除**し必要な機材・資材を準備する。保護具は予備を持つ

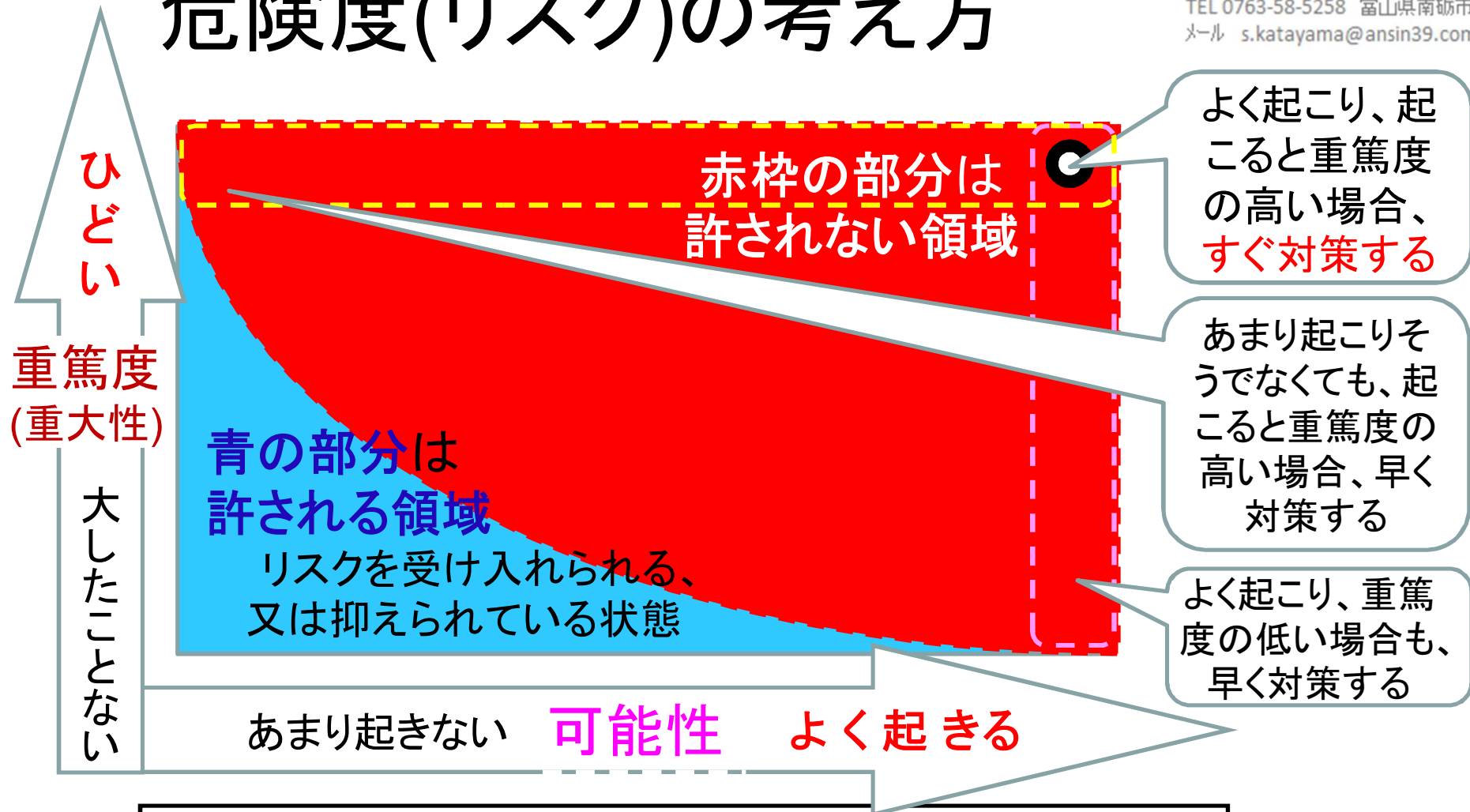
危険予知
KY(危険を避ける)

作業開始直前に、作業計画の確認と、不足の調査、機材の破損品の排除、その日の天候等**外乱による計画の遅れの予想**と対応

ヒヤリハット
(運よく・・・)

作業後、現場で起こった**ヒヤリハット**を聴取し、**原因箇所を確認して出来る範囲で対策**します

危険度(リスク)の考え方



リスクの定義(厚生労働省)
危険性または有害性のあるものによって生ずる恐れのある
負傷または疾病の**重篤度**及び発生する**可能性の度合い**

より安全＝リスクを抑える、又は低減する

農作業・建設・製造・化学・他の作業安全

法令に定められた事項の確実な実施

高

①

危険な作業の廃止・変更

より危険有害性の低い材料への代替え等

②

③

④

工学的対策(隔離・停止の原則)

⑤

⑥

管理的対策

(ルール=マニュアル、立ち入り禁止措置、
教育、訓練、暴露管理等)

農薬を浴びる
量と時間

⑦

個人用保護具の使用

(安易に保護具に頼らない、他の対策と併用)

低い

対策優先順位

大

①

本質安全

危険な状態が無い

②

③

④

安全防護

危険に近づけない
触れられない
確認型安全装置

⑤

情報・表示

危険箇所注意銘板
立入禁止、運転席表示

⑤

⑥

組織的管理・訓練

危険な状態を認識

⑦

保護具・保護衣

小さい

改善効果

保護具の使用について

保護具は、次の事で防ぎきれない危険・有害から身を守る為のものです。

- ①危険有害作業の廃止・変更
- ②工学的対策 (触れさせない、近づけない、他)
- ③管理的対策 (人が離れる、表示をする、手順を守る、他)

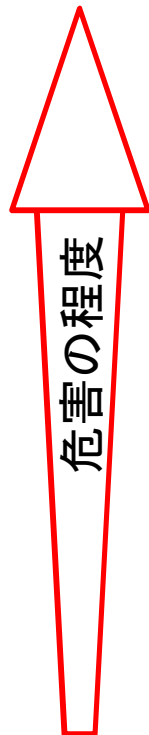
「保護具に頼ってはいけない」とは、危険有害源を無くせない低減できないなかで、保護具の使用はいつも危険源に曝されており、保護具の使用を間違うと危害を受けるからです。

改めて「保護具ありき」や「注意の集中」だけに頼るやり方には限界がある事を知り、このままで続けると保護具のトラブルや注意力の低下で危険源に接触してしまいケガや病気になると思う事です。

危害の程度

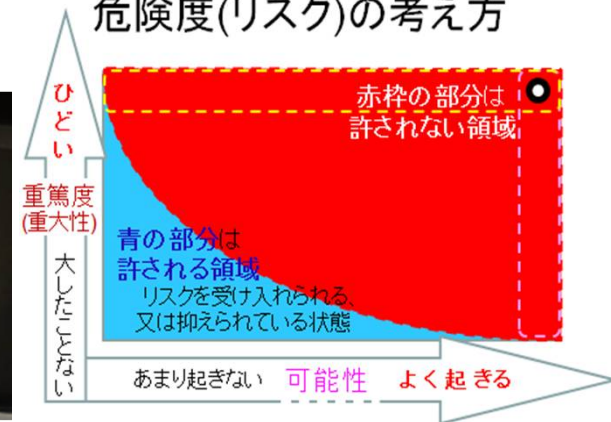
危害を受けた時、必要な作業が出来るか、出来ないかを基準にして、作業出来ない日数がどれだけ長くなるかで判断します。

数値化 記号法	危害(ケガ病 気)の程度	作業中断 日数
10 極めて 重大×	死亡、切断、 両眼失明 粉碎骨折	以後、作 業できな い
6 重大△	単純骨折・ その他	4日以上 の中断
3 重大△	捻挫、脱臼、 ギックリ腰・腰 痛・化膿・めま い・耳鳴り	1日以上 の作業中 断(仕事を 休む)
1 軽微○	打撲、擦り刺し 傷、虫刺され	作業を続 けられる



危害(ケガ病気)の程度は各自の感覚で決めて良い。問題は、**作付や収穫に作業中断日数があると、経営面に影響します。**

危険度(リスク)の考え方



危険の可能性を高める要因

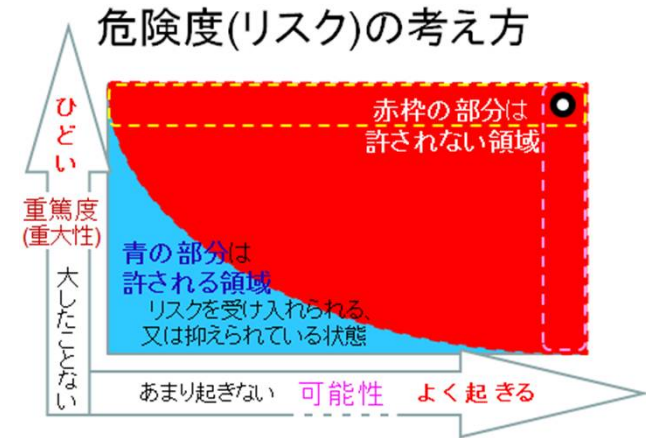
可能性	ほとんどない 1 ほとんど起こらない ○	可能性が有る 2	可能性が高い 4	確実である 6 かなり起こる ×
	たまに起こる △			

危険の可能性を高める要因

物 (道具)	充電式・ 電動 刈払機	エンジン 26cc以 上・未満	円盤刈 刃(チップ ソー)	ひも式 (ナイロン カッター)	背負い 式刈払 機	パイプ式刈払機	
						肩掛けベ ルト	腰ベルト
物 (場所)	固い地面、 固まった 土	空き瓶・ ビニル・ 板切れ	刈り倒し た草 (スリップ)	用水付 近(川水・ ため池)	電柱・支 持線、 杭・立木	コンク リート壁 (用水縁)	斜面
環境	直射日 光・高温	強風	小雨、 大雨	用水の 増水	泥濘 (ぬかるみ)	水溜り	虫(蜂)・ 熊・他
人 (作業)	人と接近 作業にな る	屈んで 覗き込む	後ろへ 下がる	円盤刃が 地面に刺 さり走る	地面をた たく (紐式)	刈刃を 大きく振 る	(エンジン) 高回転 で作業
人 (保護具の未使用)		耳栓	減振手 袋	長靴・ スパイク	長袖・ 長ズボン	ヘルメッ ト	防災面、 ゴーグル・ メガネ

危険の可能性を高める要因

物・環境・人(保護具の未使用)の要素から、ケガをする可能性の高い危険の要因がそろっているかでリスクレベルを判断します。



物	固い地面、固まった土	空き瓶・ビニル・板切れ	刈り倒した草	用水付近(川水・ため池)	電柱・支持線、杭・立木	コンクリート壁(用水縁)	斜面(20°以上は急斜面)
---	------------	-------------	--------	--------------	-------------	--------------	---------------



危険の可能性を高める要因

人 (作業)	接近作業	屈んで 覗き込む	後ろへ 下がる	円盤刃が 地面に刺 さり走る	地面をた たく (紐式)	刈刃を 大きく振 る	(エンジン) 高回転 で作業
-----------	------	-------------	------------	----------------------	--------------------	------------------	----------------------



人 (保護具の 未使用)		耳栓	減振手 袋	長靴(鉄 心入り) スパイク	長袖・ 長ズボン	ヘルメッ ト	防災面 メガネ・ ゴーグル
--------------------	--	----	----------	----------------------	-------------	-----------	---------------------



作成 '18.8.28

片山安心コンサルタント合同会社

TEL 0763-58-5258 富山県南砺市

メール s.katayama@ansin39.com

2. リスクアセスメント手法、 危険を見つけ危害の程度で対策を立てる



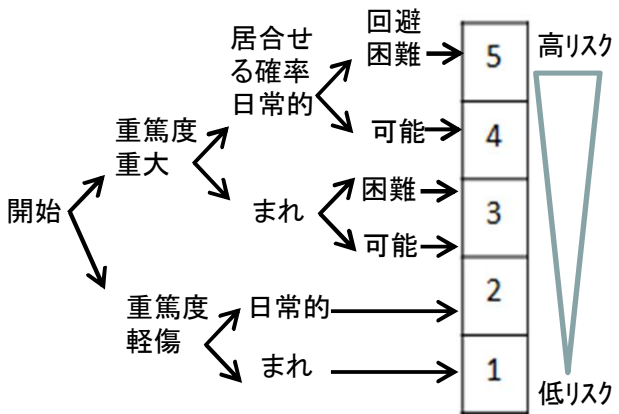
2018.4.20 南砺市年代

2. リスクアセスメント 色々な手法

記号による方法

重大性 (重篤度) 可能性 (度合い)	軽微 ○ 1 (不休災害)	重大 △ 2 (休業災害)	極めて重大 × 3 (死亡・障害)
○ 1 ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ 1 極めて小さい	○△ 2 小さい	○× 3 大きい
△ 2 たまに起こる (2年に1回程度)	△○ 2 小さい	△△ 4 より大きい	△× 6 かなり大きい
× 3 かなり起こる (1ヶ月に2回程度)	×○ 3 大きい	×△ 6 かなり大きい	×× 9 極めて大きい

リスクグラフ法



リスクマトリックス評価

危険が起きる頻度	5	C	B3	A1	A2	A3
4	C	B2	B3	A1	A2	
3	C	B1	B2	B3	A1	
2	C	C	B1	B2	B3	
1	C	C	C	B1	B2	
0	C	C	C	C	C	
	0	I	II	III	IV	

危険を受けた重篤度

数値化による方法

リスクレベル	リスクポイント	=	重篤度	評価点	+	可能性	評価点	+	頻度	評価点
Ⅳ	重大な問題がある		致命的	10		確実である	6		頻繁	4
Ⅲ	問題がある		重大	6		可能性が高い	4		時々	2
Ⅱ	小さな問題がある		中程度	3		可能性がある	2		滅多にない	1
Ⅰ	ほとんど問題ない		軽度	1		ほとんどない	1			

2-1. 刈払機のリスクアセスメント例

対策を実施したらケガ・病気になる可能性は低くなっているか？
 重大性は変わらないので、**可能性を再評価する。**

リスクの発見(抽出)	可能性	重大性	評価	対策後の可能性			
				対策内容	危険有害の再評価		
1. 回転刃(チップソー)が地面刺さり 刈刃が手前へ走って、右足親指 を切る (背負式刈払機)	× かなり起 こる	△ 重 大	× △ 危険は かなり大 きい	ひも式を 使用する (ナイロンカッター)	○ ○○ 極小		
				ケガの程度軽くなり、重大性は下がる		パイプ式 腰ベルト 固定型を 使用する	△△ より大 きい
				(金具入り) 長靴を履 く	× ×△ かなり 大きい		



回転数を5500rpm程
 度に下げる対策は
 次ページ参照

2-1. 刈払機のリスクアセスメント例


リスクの 発見(抽出)	可能性	重大性	評価	対策後の可能性		危険有害 の再評価
				対策内容	対策理由	
1. 回転刃 (チップソー) が地面に刺 さり刈刃が 手前へ走っ て、右足親 指を切る (背負式刈払機)	× かなり起 こる	△ 重大	× △ 危険は かなり大 きい	①ひも式を使 用する (ナイロンカッター)	チップソーは足を切る が、紐式は長靴を切 れず、足も切れない	○ ○ 極めて 小さい
				②パイプ式 腰ベルト固定 型を使用する	刈刃の可動範囲を 固定し、足先に刈刃 を当たらなくする。 (草刈範囲は狭くなる)	△ △ より大 きい
				⑦(金具入り) 長靴を履く	チップソーの回転はそ のまま存在し、足の 甲やすねを切る	× △ かなり 大きい
				⑥エンジンの 回転数を下 げる 約5500rpm	回転数を落とすこ とで草も切れにくくな るが身体も切れ難い	× △ かなり 大きい

注意 対策内容の①～⑦は、
P.5の対策の順序です





2-1. 危険性又は有害性の評価

注意: 季節的な周期性のある作業に特化している。


重大性 × **可能性** = **評価** (記号表現と数値表現の併記)

重大性 (重篤度) 可能性 (度合い)	軽微 ○ 1 (不休災害)	重大 △ 2 (休業災害)	極めて重大 × 3 (死亡・障害)
○ 1 ほとんど起こらない (5年に1回程度)		↓	
△ 2 たまに起こる (2年に1回程度)		↓	
× 3 かなり起こる (1ヶ月に2回程度)	→	<div data-bbox="1120 1034 1608 1157" data-label="Text"> <p>回転するチップソー</p> </div> 	

2-1.「回転刃で足を切る」対策の程度

		機械的対策				
		本質安全	安全防護 (保護)	情報・表示	組織的管理 ・訓練	保護具
作業的 対策	危険作業の 廃止・ 変更	①リスク取り 1.紐(ナイロンカッター)を使用する	刈刃が足元から遠ざかる 			
	工学的対策 (隔離・停止 の原則)	②リスクを回避 1.パイプ式腰ベルト固定 型刈払機を使用する				
	管理的対策	③保護 1.回転刈刃に ガードを掛ける	④保護 1.衝撃センサーでショックを検 出し回転にブレーキを掛ける	⑤注意表示 1. なし (単純に作業マ ニュアルと警告銘板)		
	個人で対策 (保護具)			⑥ルール 1.エンジン回転数 を下げても作業する	⑦保護具 1.(金具入り) 長靴を履く	
	法令				免許、講習、作業 主任者・指揮者、 安全パトロール	使用の指示と 着用義務

2-2. 刈払機のリスクアセスメント例

リスクの発見(抽出)	可能性	重大性	評価	対策後の可能性	
				対策内容	危険有害の再評価
2. 刃先が地面と接触してはじかれた小石が目当たり、目がごろごろする (ナイロンカッター使用) 注意: 放置すると失明する 	× かなり起こる	△ 重大	× △ 危険はかなり大きい	円盤式を使用する (チップソー)	○ △ 小さい
				エンジン回転を遅くして作業する	× △ かなり 5500rpm程度
				ゴーグルを使う(頬に小石当たる)	△ △ より大きい
				防災面を使う(頬に石当たらない)	△ △ より大きい

注意: 保護具の使用でも危険源はそのまま残っているため、危険性やケガの重大性は変わらない

2-2. 刈払機のリスクアセスメント例

リスクの 発見(抽出)	可能性	重大性	評価	対策後の可能性		危険有害 の再評価
				対策内容	対策理由	
2. 刃先が 地面と接触 してはじか れた小石が 目に当たり、 目がごろご ろする (ナイロンカッ ター使用)	× かなり起 こる	△ 重大	× △ 危険は かなり大 きい	①円盤式を使 用する (チップソー)	チップソーは紐式と比 較し、地面を叩かず 小石の飛び少ない	○△ 小さい
				⑥エンジン回 転を遅く作 業する(5500rpm程度)	回転が遅くなれば 飛ばした石の威力も 低下し、飛散量も少 なくなる	×△ かなり 大きい
				⑦ゴーグルを 使う (頬に小石当たる)	目に泥や小石が入 らないが、汗で曇り 見え辛くなる	△△ より大 きい
				⑦防災面を使 う(頬に小石当た らない)	顔全体に泥や小石 が当たらず、風通し も有りあまり暑くない	△△ より大 きい

大型の
クリアータイプ



重大性は変わらない

注意 対策内容の①～⑦は、
P.5の対策の順序です





2-2. 危険性又は有害性の評価

注意: 季節的な周期性のある作業に特化している。

重大性 × **可能性** = **評価** (記号表現と数値表現の併記)

重大性 (重篤度) 可能性 (度合い)	軽微 ○ 1 (不休災害)	重大 △ 2 (休業災害)	極めて重大 × 3 (死亡・障害)
○ 1 ほとんど起こらない (5年に1回程度)		↓	
△ 2 たまに起こる (2年に1回程度)		回転するナイロンカッター	
× 3 かなり起こる (1ヶ月に2回程度)	→		

2-2.「飛んだ石が目に入る」対策の程度

		機械的対策				
		本質安全	安全防護 (保護)	情報・表示	組織的管理 ・訓練	保護具
作業的対策	危険作業の 廃止・ 変更	①リスク取り 1.円盤刃(チップソー)を使用する				
	工学的対策 (隔離・停止 の原則)	②リスクを回避 1.なし	③保護 1.飛散防止カバーを掛ける			
	管理的対策	④保護 1.なし	⑤注意表示 1.なし (単純に作業マニュアルと警告銘板)	⑥ルール 1.エンジン回転数を落とし作業する		
	個人で対策 (保護具)	ヘルメット+防災面+ 日除け+ 喉の網 	防災面(クリアー) 	ゴーグル 	⑦保護具 1.防災面を使用する 2.ゴーグルを使用する	
	法令				免許、講習、作業主任者・指揮者、安全パトロール	使用の指示と着用義務

2-3. 危険性又は有害性の見積り

可能性は、

注意: 季節的な周期性のある作業に特化している。

ケガ・病気が**多い**か**少ない**かの判定

災害発生の可能性	可能性(発生度合い)の見積り基準	表示	
		記号	数値
ほとんど 起こらない	農繁期(約1ヶ月)の 5年間 で1回以下	○	1
たまに 起こる	農繁期(約1ヶ月)の 2年間で 1回 起こる	△	2
かなり 起こる	農繁期(約1ヶ月)に 2回以上 起こる	×	3

補足: ○でもない、×でもない、それが△です

重大性は、

注意: 季節的な周期性のある作業に特化している。

ケガ・病気の程度が重い**か**軽い**かの判定**

災害受傷程度 の重大性	重大性(重篤度) の見積り基準	表示	
		記号	数値
軽 微	不休災害 仕事を休まずに済む	○	1
重 大	休業災害 1日以上必要な仕事を 行えない (農業者特別加入は4日以上)	△	2
極めて重大	死亡及び重大な障 害が残る災害	×	3

農業者特別加入については右記アドレス参照 http://www.maff.go.jp/j/pr/annual/pdf/seisan_05.pdf

片山安心コンサルタント合同会社

ホームページ <http://ansin39.com/>

危険性又は有害性の評価

注意: 季節的な周期性のある作業に特化している。

重大性 × **可能性** = **評価** (記号表現と数値表現の併記)

重大性 (重篤度) 可能性 (度合い)	軽微 ○ 1 (不休災害)	重大 △ 2 (休業災害)	極めて重大 × 3 (死亡・障害)
○ 1 ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ 1 極めて小さい	○△ 2 小さい	○× 3 大きい
△ 2 たまに起こる (2年に1回程度)	△○ 2 小さい	△△ 4 より大きい	△× 6 かなり大きい
× 3 かなり起こる (1ヶ月に2回程度)	×○ 3 大きい	×△ 6 かなり大きい	×× 9 極めて大きい

危険性又は有害性の評価 (リスクアセスメント)後の対応時期

可能性 \ 重大性	軽微 (仕事を休まずに済む災害)	重大 (1日以上仕事を休む災害)	極めて重大 (死亡・元に戻らない傷害を受ける)
ほとんど起こらない (特に注意していなくても、ケガ・病気がほとんどない)	極めて小さい 有効な対策有れば実施する	小さい 対策を見つけた時点で行う	大きい 対策を考えて次の農繁期前に行く
たまに起こる (うっかりするとケガをすることもかもしれない)	小さい	より大きい 今の農繁期に対策する	かなり大きい 今の農繁期中に対策する
かなり起こる (よほど注意していないとケガをする)	大きい 対策を考えて次の農繁期前に行く	かなり大きい 今の農繁期中に対策する	極めて大きい 作業を止めて即座に対策



注意: 季節的な周期性のある作業に特化し、対策には保護具の着用を含まない。

明日の作業開始までに

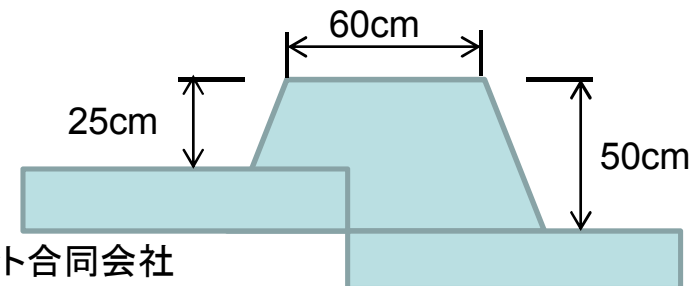
2-4. 刈払機のリスクアセスメント

次ページの「リスクの発見」1項と2項は相反する内容です。
作業する場所の環境に合わせて、道具と保護具を選びます。



左の写真の場所で草刈り作業の、計画時のリスクアセスメントを前頁も含めたもので行ないます。

草丈15~30cm程度
泥畔で小石は多くない
畔幅60cm有る
(寸法は気にしなくて良い)



刈払機、作業前のリスクアセスメント 1/3

リスクの発見 (抽出)	可能性	重大性	評価	対策後の可能性		危険有害 の再評価
				対策内容	対策理由、説明	
1. チップソー が地面に刺さり 刈刃が手前 へ走って、右 足親指を切る (背負式刈払 機)	×	△	× △	①ナイロンカッターを 使う	チップソーは足を切るが、紐式 は長靴を切れず足も切れない	○ ○○
				②パイプ式腰 ベルト型を使う	刈刃の可動範囲を固定し、 足先に刈刃を当たらない	△ △△
				⑦(金具入り) 長靴を履く	チップソーの回転はそのまま存 在し、足の甲やすねを切る	× ×△
				⑥エンジンの回 転数を下げる	回転数を落とすことで草も切 れにくくなるが身体も切れ難い	× ×△
2. ナイロン カッターが地 面と接触して はじかれた小 石が目にあ たり、目がご ろごろする	×	△	× △	①チップソーを使 用する	チップソーは紐式と比較し、地 面を叩かず小石の飛び少ない	○ ○△
				⑥エンジン回転数 を下げる	回転が遅くなれば飛ばした 石の威力も低下し、飛散量も 少なくなる	× ×△
				⑦防災面を使う (大型クリアシールド)	顔全体に泥や小石が当たら ず、風通し有りあまり暑くない	△ △△

注意 対策内容の①～⑦は、
P.5の対策の順序です

片山安心コンサルタント合同会社

ホームページ <http://ansin39.com/>

刈払機、作業前リスクアセスメント 2/3

リスクの発見 (抽出)	可能性	重大性	評価	対策後の可能性		危険有害 の再評価
				対策内容	対策理由、説明	
3. 刈り倒した 草で右足を滑 らせて下の田 に転倒し、右 足をくじく	△	○	△ ○	⑦長靴に着脱 スパイクを履く	草刈り時はスパイクで滑り止 めし、道路は長靴だけで歩く	○ ○ ○
				⑥草は田に入 れ畔に残さない	刈刃の振りは大きくなり、田 に水があれば草は枯れない	△ △ ○
				⑥すり足で進行 する	草はそのまま存在し、危険 源は残ったままである	△ △ ○
				⑥草丈が20 cmで草刈する	草丈は短く滑らないが、草刈 りは短時間だが回数が増える	○ ○ ○
				②ナイロンカッターで 草を粉砕する	草が粉砕され滑らないが、ミ ズが増えて土が柔らかくなる	○ ○ ○
4. 水口(みなくち) や水尻(みなしり) のコンクリート に刈刃が跳 ね返り、足を 切る	×	△	× △	①ナイロンカッターを 使用する	チップソーは足を切るが、紐式 は長靴を切れず足も切れない	○ ○ ○
				⑥エンジン回転数 を下げる	回転が遅くなれば跳ね返りも 小さく足に当たらない	× × △
				⑦(金具入り) 長靴を履く	チップソーの回転はそのまま存 在し、足の甲やすねを切る	× × △

刈払機、作業前リスクアセスメント 3/3

リスクの発見 (抽出)	可能性	重大性	評価	対策後の可能性		危険有害 の再評価
				対策内容	対策理由、説明	
5. 畔が有ると 思い後退し、 足元が空を 切り後ろに倒 れて、 a.頭を打つ、 b.泥水を被る、 c.刈刃が自身 の腿に当たり 切る(c.につい て検討する)	△	×	△ ×	③パイプ式刈 払機を使う	草刈り時はスパイクで滑り止 めして、道路は長靴だけで歩く	○ ○ ×
				⑥畔幅を振り向 き確認して後退	後を振り向くので刈刃の振り が思いがけない所に向く	△ △ ×
				⑥前進のみで 進行する	前進だけで行う様にして、方 向転換時はゆっくり動く	○ ○ ×
				⑦足にすね当 て・プロティク ターを付ける	すね当ては足元が重くなり 疲れやすい、プロティクターは 重く動きづらく、通気性悪く暑 い	△ △ ×
6. 水口(みなくち) や水尻(みなしり) の穴に足を取 られ転倒し、 a.頭胸を打つ b.足を捻挫	△	△	△ △	⑤棒を立て穴 の目印にする	先に穴の周囲を刈り払えて、 注意が集中できる	○ ○ △
				③穴にコンク リートの蓋を置 く	蓋に刈刃が当たり、刈刃の 跳ね返りが起きる	△ △ △

泥や20cm程度
の石に頭をぶつ
けても大事ない

泥水が目に入っ
てもすぐ洗えたら
大事ない

ケガの重篤なも
のを検討する

頭と胸を泥で打
っても大事ない

ケガの重篤なも
のを検討する

前4頁と同じリスクが
新たに発生した

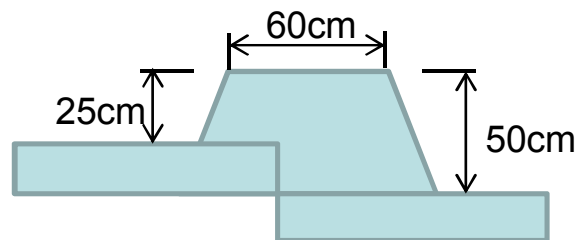
2-4. 作業前のリスクアセスメント結果

計画時のリスクアセスメントを行った結果は以下で、



リスク	刈払機		チップソー	ナイロンカッター	低回転数	防災面
	パイプ式	背負式				
1. 回転刃で足を切る	○			◎	○	
2. 飛んだ石が目に入る			○		◎	◎
3. 草で足を滑らせる				◎		
4. コンクリートで反バツ				◎	○	
5. 後退して転倒	◎					
6. 穴に足を取られ転倒	(棒で目印を付ける)					

その結果を総合すると、次の写真になる。



この畔はナイロンカッターを使用する



3. 危険予知、作業直前に その場に合わせた危険を避ける

作成 '18.8.29

片山安心コンサルタント合同会社

TEL 0763-58-5258 富山県南砺市

メール s.katayama@ansin39.com



2016.4.15 南砺市年代

畦草刈りの危険予知

水田に水が無い



水田に水が有る



硬くしまった畦

田に水が無い畔草刈は、

- ①水しぶきは無い
- ②泥は硬くの刈り刃がダッシュして自身の足に当たり切り易い
- ③草が露出し刈残しは少ない
- ④草は乾いて枯れる

田に水を張ってある畔草刈は、

- ①水しぶきが掛かり服が濡れる
- ②泥混じりの水が顔に掛り目に入る
- ③水に草が隠れ刈残しが多くなる
- ④水があるので枯れずに根を張り繁殖する

河川縁の畔草刈の危険予知

修正 '18.8.31 追記
片山安心コンサルタント合同会社
TEL 0763-58-5258 富山県南砺市
メール s.katayama@ansin39.com



当たり前ですが、**雨風(小雨含む)の日には草刈りを行わないことが賢明です**

- ① 乗り面を滑り落ち、川に転落する
- ② 川縁は、草を落とさない様に堤防の上側へ刈る
(一斉草刈りは、刈り落とした草で川水を堰き止め、決壊して一度に流れると災害になる)
- ③ 草を刈り倒しながら横へ運び、足元に草が無い状態にする
- ④ 下段から刈り、上段に進む
- ⑤ 畔の草は最後に刈る

4. 作業終了後のヒヤリハット報告

ヒヤリハット報告は、重要な安全情報です

作業中にヒヤリ(ヒヤッ)とする、ハットした事がたまに起こります。
 作業が終わった後にその情報を記録します。

それは今後の ①重大災害を予防し

②疲労の原因を低減させる為の安全資源です。

情報には出来るだけ、重量・大きさ・長さ・形、高さや気温と雨風の状態、他を記入しておくことで、後で見て分かるものになります。

また、③上手くいった要因は特に重要で、今後の作業効率を上げる鍵になります

(作業)~をしていた時	~でヒヤッとした	(原因は)~であった	(対策)~する
排水路の法面(斜度約20°)の草刈りで、屈んで前傾で下の草を刈ろうとした時、	腰が冷たくなった。混合油(約10cc)がこぼれて腰に掛った	刈払機の燃料キャップがゆるんでいて、こぼれていた。	今後は、給油後キャップを締めた後、指差し呼称して締め確認をする

残量から推測する

日頃から斜度を意識する

ヒヤリハット報告書の例 1/3

	(作業)~をしていた時、	~でヒヤットした	(原因は) ~であった。	(対策) ~する
1	傾斜面で草刈りしていた時、 何所の場所か、記入あると後で分かる	足が滑り転びそうになった	傾斜と刈り倒した草で滑った。	☆ナイロンカッターで草を粉砕する ☆長靴に脱着スパイクを取り付ける
2	草丈が伸びていたのでアクセルを吹かして刈っていた時、	人が近付いて声を掛けられたのを知らずに、刈刃が当たりそうになりヒヤットした	エンジン音で接近や声を掛けられたのが分からなかった。	☆エンジンを回転を下げ、効率は悪くなるが安全作業をする
3	畔の草刈りをしていました時に、	絡み付いた草を手で取ろうとした時に刈刃が回転しだした	刈刃を引き寄せた際に、アクセルワイヤーが曲り引っ張られてエンジン回転が上がった。	☆エンジンを止めて絡まった草を取る
		上面に出ていた石に円盤刃(チップソー)が当たり、弾じて刃が自身の右足に当たった	円盤刃が石に当たったから。	☆石を取り除く

ヒヤリハット報告書の例 2/3

	(作業)~をしていた時	~でヒヤットとした	(原因は) ~であった	(対策) ~する
3	畔の側面から草刈りしていた時、	刈払機を振った時に畔の上面に円盤刃(チップソー)が刺さり、刈刃の回転で足に向かって走り当たって足を切りそうになった	円盤刃が地面に刺さったから。	☆ナイロンカッターで草刈りをする
		泥と小石を撥ねて顔に当たった	☆斜面(法面)は雨で泥が流れて露出し、その石を弾き上げていたから。	☆防災面を使用する
		水田に水が張っており、その水を刈刃で撥ねて顔に掛った	☆水田に水が有ったから。	☆水の無い時に草刈りをする (水が有ると草刈りは上手く出来ない) ☆防災面を使用する

ヒヤリハット報告書の例 3/3

	(作業)~をしていた時	~でヒヤッとした	(原因は) ~であった	(対策) ~する
4	民家の裏(焼却炉の所)の畔草を刈った時、	針金が刈刃に巻き付いて、更に自分の足に当たった	焼却炉のゴミの中に針金があった。	☆無し(草で見えず) ☆家人に異物の始末をお願いする
5	背負い式を地面に置いてエンジンを始動させた時に、	刈刃が回転しながら(シャフトが)急に動き出してヒヤッとした	刈刃が地面に当たっていたから。	☆シャフトを伸ばし、刈刃を天に向けてエンジンを始動する
		人が刈刃に近づいたのでヒヤッとした	エンジンを掛ける事に集中していたから。	☆人が近づかない向きに刈刃を置き、一呼吸おき、周囲を確認してエンジン始動する
6	土手の草刈りをしていた時、	蔦が絡まり振りほどこうと刈払機を引いたが蔦が取れず反動で土井の斜面を少し滑り落ちた	蔦を力任せに引っ張ったから。	☆エンジンを止めて絡まりを解く ☆チップソーの場合、大地と刃の角度を変えて蔦を切る

5. 災害事例



畔の左側面を背負い式で刈り払った時、チップソーが畔の上に刺さり、刈刃の回転で足に向かって走り当たった。

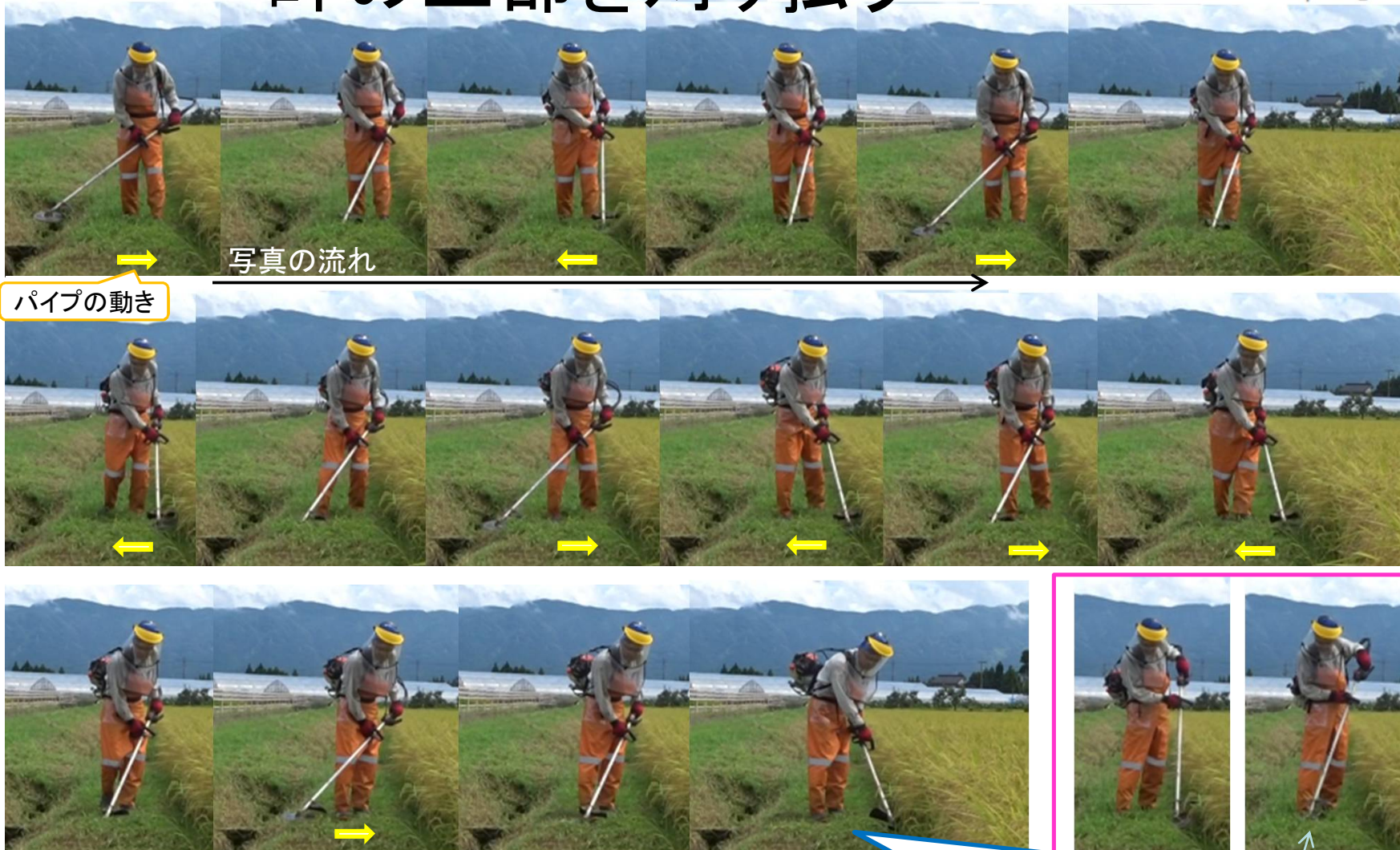
長靴を切り、右足の親指に切り込んだ。

左手の安全レバーは刈刃を靴から引き離そうとして握ったままで、手は離せない。
(回転は止められなかった)



長さ16mm
深さ 4mm

畔の上部を刈り払う



右足を半歩前進させた時、このタイミングで
回転刃が地面に刺さって走り出し、それを右足が受けて親指を切った

参考

畔の側面を刈り払う

写真の流れ



ご安全に !!

なんと
富山県 南砺市の紹介

<http://tabi-nanto.jp/>

「なんと市 観光」で検索



<http://www.tabi-nanto.jp/event/>



世界遺産五箇山を巡る

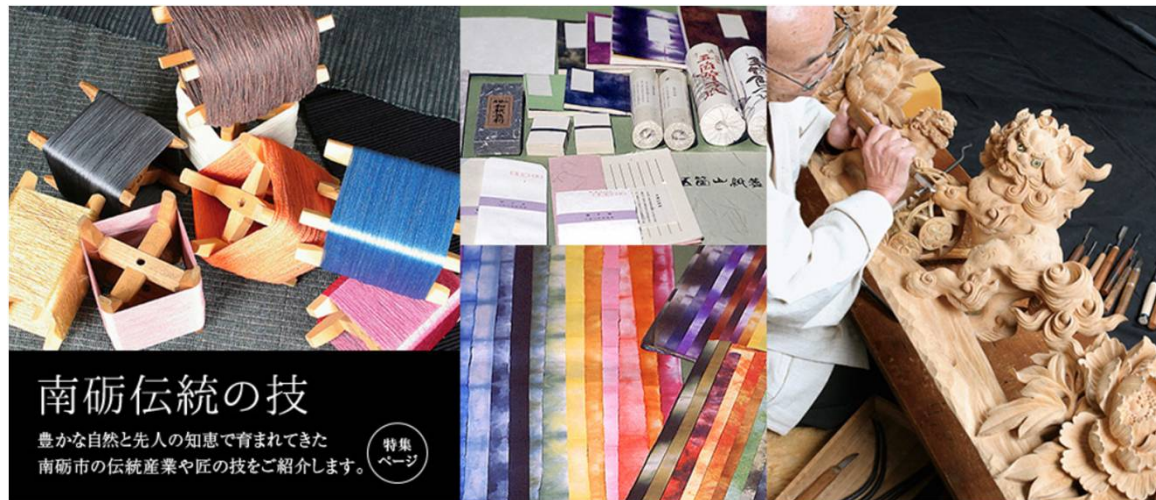
遠く、いしえから受け継がれてきた文化。
季節の移ろいととも、ゆっくりと流れる特別な時間。

特集
ページ



福野夜高祭

宵祭り
毎年5月1日・2日
毎年5月3日



南砺伝統の技

豊かな自然と先人の知恵で育まれてきた
南砺市の伝統産業や匠の技をご紹介します。

特集
ページ



井波よいやさ

毎年5月3日



城端曳山祭

毎年5月4日・5日